

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年05月15日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年5月11日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ノーザン州立大学(日本語名) Northern State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年8月～2025年5月
留学先大学で在籍した学年	2, 3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月上旬 2 学期: 1月上旬 ～5月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 2000
創立年	1889

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USD) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	2,752	円	
食費	2,000	円	
図書費	100	円	
学用品費	200	円	
携帯・インターネット費	250	円	
現地交通費	0	円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	400	円	
旅費(留学中)	2000	円	
被服費	100	円	
医療費	50	円	
保険費		100,000 円	形態:
渡航旅費		300,000 円	
ビザ申請費		80,250 円	
雑費	200	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	8,052 (=1,207,800 円)	480,250 円	
総計(A+B) ※円		1,688,050 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：アバディーン空港 経由地：ミネアポリス

復路 出発地：アバディーン空港 目的地：羽田空港 経由地：ミネアポリス

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：DELTA

料金：30万

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：DELTA 料金：15万

復路 航空会社：DELTA 料金：15万 ∴合計：30万

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： Skyscaneer)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Mcarsh) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

留学先からのフォーム

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人の時間を大切にすると人にとっては心地の良い場所だと思います。ルームメイトがいなくても遅くまで友達と共用スペースで話したりすることができるので英語でのコミュニケーションをとる機会が減ってしまうなどの心配はありませんでした。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: Avela)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

キャンパス外を深夜に歩かないようにだけ気を付けたが、特に地域の治安に問題はなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内のインターネットに問題は全くなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを持っていき、両親から日本の口座に送金してもらう形を取っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

食料

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
History 152		歴史 152
科目設置学部・研究科	HIST	
履修期間	2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Ric Dias	
授業内容	1877 年以降の歴史	
試験・課題等	定期テスト二回	
感想を自由記入	教授がとても面白く、留学生にも優しい方でした。英語で習う歴史、アメリカ視点を含んだ歴史を学ぶことができ興味深かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fundamental of Speech Communication	スピーチ基礎
科目設置学部・研究科	CMST
履修期間	2024 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Justin Gus Foot
授業内容	スピーチの基礎、組み立て方を学んだうえで繰り返しのスピーチをクラスの前で行った。
試験・課題等	スピーチを暗記すること、スピーチの原稿提出が主な評価基準で、特にテストなどは存在しなかった。
感想を自由記入	クラス全体の前でのスピーチは緊張するが、やり遂げることができたのはとても自身につながった。教授は緩い雰囲気でも授業も課題も厳しさはなく、安心してすべてに取り組むことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Composition I	文章構造
科目設置学部・研究科	ENGL
履修期間	2024 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Elizabeth.Haller
授業内容	論文やエッセイの書き方を学んだ
試験・課題等	ミニエッセイを何度か提出し、最終レポートに向けいくつかの段階で提出することが台として設定されていた。
感想を自由記入	英語での論文の書き方の基礎を学ぶことができた。日本の論文の書き方と異なる部分や、読者の興味の引き方などを学んだ。グループワークが基本だったので現地の人とのコミュニケーションの機会も多く得ることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Organization and Management	組織と管理
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2024 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回
担当教授	Daniel Shannahan
授業内容	組織の種類、効率的なマネジメントについて学ぶ
試験・課題等	定期的にある告知なしのテスト、週一程度の授業にまつわる課題
感想を自由記入	課題の量、テストに向けた学習量は少し時間を要するものだった。グループワークもすくなく教授の英語を一方的に聞き続け理解してついていくことに必死だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Interpersonal Communication	対人コミュニケーション
科目設置学部・研究科	SPCM
履修期間	2024 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回
担当教授	Tanya White
授業内容	対人関係におけるコミュニケーションを言語学視点で捉える。その応用としてスピーチ、グループ発表などを行う。
試験・課題等	定期的なスピーチ原稿や、言語学関連の課題が出される。
感想を自由記入	教授が留学経験のあるウクライナからの教授で留学生には特に親身に寄り添ってくれた。定期的に面談を行ってくれたりスピーチの構成を考えたりしてくれた。クラス内のアクティビティも豊富だったのでとてもいい経験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Argumentation and Debate	口論と議論
科目設置学部・研究科	CMST
履修期間	2025 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Justin Foote
授業内容	議論における重要事項を踏まえたうえで実践を繰り返す
試験・課題等	議論の内容を見て基本的に評価される
感想を自由記入	現地の人々と議論をすることは厳しいようにも思えたが、適切な手順、準備を行えば実践にも対応することができた。自分が議論の場に参加することができるという自信にもつなげることができた良い講義であったと感じている。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Relation	国際関係導入
科目設置学部・研究科	POLS
履修期間	2025 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Jon D. Schaff
授業内容	世界大戦、イスラエル、ウクライナなど過去や現代の国際情勢について
試験・課題等	三度定期テストがある
感想を自由記入	基本的に教授の話聞き、メモを取る。現代の国際情勢におけるアメリカの役割、立ち位置、アジアの国の立ち位置などを学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Linguistic	言語学導入
科目設置学部・研究科	LING
履修期間	2025 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式・オンラインもあり(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回
担当教授	Tanya White
授業内容	言語学の基礎
試験・課題等	毎週動画を見る課題か問題を解く課題がある
感想を自由記入	この教授は留学生に親身であった。グループワークが非常に多かった。言語学を音声学、構造、スラング、など分野に分けて講義が進められた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cultural Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	ANTH
履修期間	2025 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Dave Grettler
授業内容	人類学・歴史学・考古学など様々な分野に文化という背景を組み合わせでエンジンといった初期から学んでいった。
試験・課題等	ミニテストが数回、定期テストが三回
感想を自由記入	講義内容は難しいことはなくスライドも見やすかった。様々な学問からみた文化人類学を学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Western Civilization I	西洋史
科目設置学部・研究科	HIST
履修期間	2025 春
単位数	3
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義景色(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Art Marmorstein
授業内容	西洋史
試験・課題等	定期テストが三回、文献を読んで感想文を書くような課題が 5 つほど
感想を自由記入	教授の英語がとにかく早い。着いていくのに必死だったという印象が強い。定期テストでのエッセイの量も非常に多かったためテスト勉強に多くの時間を割かなければいけなかった。しかしテスト前に対策の講義が開かれたりとサポートは手厚かった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	語学試験の勉強
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	試験・出願
	4月～7月	予防接種、Visa、航空券、滞在先、履修登録など諸手続き
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	12月前半期末試験
留学/帰国年	1月～3月	航空券購入
	4月～7月	5月前半期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が留学先としてアメリカを選んだ理由は、多様な文化や価値観が共存している社会の中で生活することで、視野を広げたいと考えたからです。英語が母語として使用されている環境で、語学力を実践的に向上させることができるのも大きな魅力でした。また、都会の喧騒から離れた、比較的穏やかな地域を選ぶことで、自然に囲まれた中でのびのびとした生活を送り、自分自身と向き合う時間も大切にできると思ったのです。

これから留学を目指す学生には、「準備」と「心構え」の両方が非常に大切であることを伝えたいです。語学面では、教科書で習う英語だけでなく、日常会話やリアルな発音にも慣れておくことが重要です。現地のスピードや発音に最初は戸惑うかもしれませんが、動画サイトなどを活用して日頃から耳を慣らしておくと、現地での理解度がぐっと上がります。

生活面では、自立心と柔軟な心を持つことが不可欠です。文化や生活習慣の違いに戸惑うこともあるかもしれませんが、それも学びの一環です。また、日本人とばかり過ごすことに不安を感じる方もいるかもしれませんが、彼らとのつながりが支えになる場面もあります。現地の人との交流を恐れず、積極的に話しかけてみる姿勢が大切です。困ったときには大学の支援やホストファミリーに頼ることもできるので、「一人で頑張らなければ」と抱え込まずに、周囲に助けを求めることも忘れないでください。